

当社はグループをあげて、企業価値の向上に努めるとともに、すべてのステークホルダーの皆様と良好な関係を維持できるよう、様々な活動に取り組んでいます。

企業の社会的責任遂行

社会の一員として、当社の果たすべき役割を認識し、CSR活動を積極的に推進しています。

コーポレート・ガバナンス

意思決定機関としては株主総会、取締役会がありますが、迅速な意思決定を行うため、2005年度より執行役員制を採用し、取締役は従来の25名から7名に削減しました。

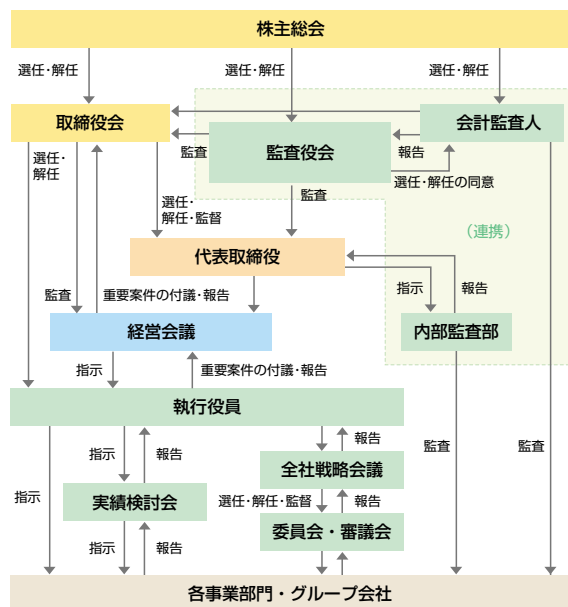
審議機関としては、経営会議、各委員会がありますが、特に経営会議は少数で意見交換できるように取締役および常勤監査役で構成しています。

監査機関として監査役会は、現在4名の監査役のうち、従前から2名の社外監査役が就任しています。

内部統制の仕組みについては、内部監査部を設置し、業務の適正性と効率性の観点から内部監査体制の充実を図っています。

また、顧問弁護士からは、顧問契約に基づき必要に応じてアドバイスを受けています。

■ガバナンス体制図



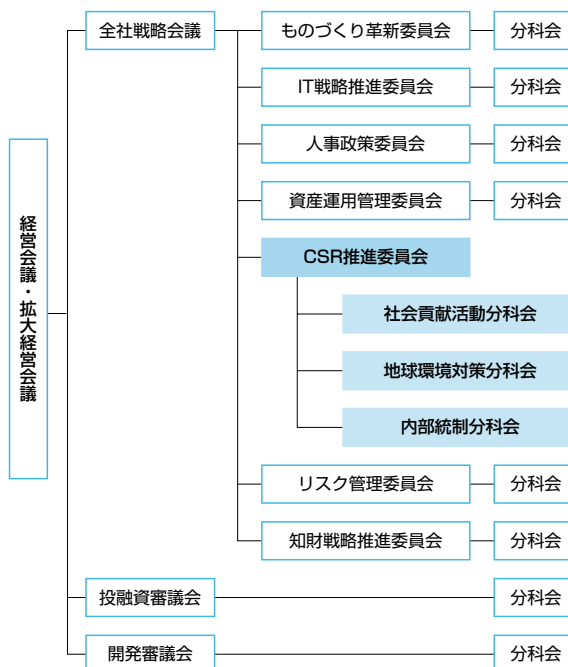
委員会活動とCSR推進委員会の創設

全社戦略会議の下部組織として、本社機能に即した委員会を設置し、企業価値向上に向けた審議機関として活動しています。

その中で、社会的責任を積極的に推進していくための体制づくりの一環として、2005年7月、これまでの「地球環境対策委員会」と「社会貢献活動委員会」を発展させ、「CSR推進委員会」を創設しました。環境保全、社会貢献活動ばかりでなく、雇用や情報開示など幅広い活動を行うほか、日本版SOX法*の動きに合わせ、内部統制についても検討しています。

*日本版SOX法：企業の内部統制の強化を目的に、公認会計士が上場企業のガバナンスを監視する新ルール

■経営会議と各委員会の体系図



コンプライアンス（法令順守）

コンプライアンス推進体制については、常に社会から高い信頼を得ることを目的として、コンプライアンス最高責任者・推進責任者・指導責任者を選任し、周知徹底を図っています。

コンプライアンスの浸透については、「ニッパツ社員の行動指針」に基づき、新入社員、管理者、基幹職のそれぞれの集合研修で教育を実施しているほか、社内報などを通じて周知徹底を図っています。



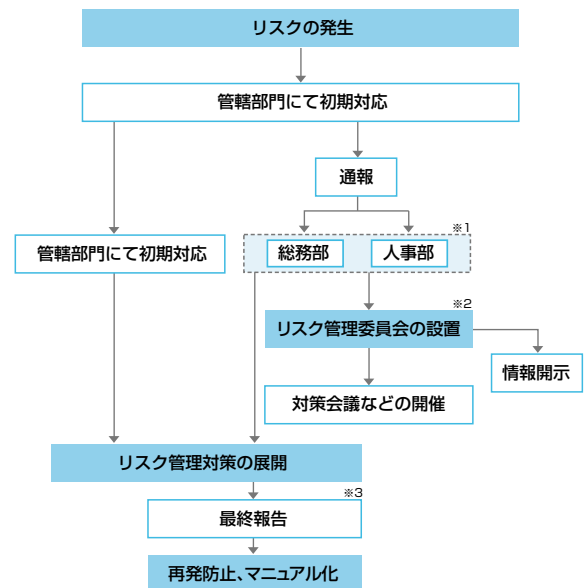
ニッパツ社員の行動規範

リスクマネジメント

法的リスク、財務リスク、情報漏えいリスク、災害リスクなど、当社を取り巻く様々なリスクに的確に対処するため、社内にリスク管理委員会を設けています。委員会では、災害発生などの緊急時の対応、組織・ルールづくりといった体制整備など、活発な活動を行っています。

最近の事例としては、情報漏えいリスク対応として、全社的にe-ラーニングを活用し、情報セキュリティや個人情報保護の教育を実施しています。

■リスク発生時のフロー・チャート



※1 総務部は、法務・財務・災害事故リスクを担当し、人事部は、労務リスク、海外における事件・事故を担当しています
 ※2 事務局は、総務部と人事部のいずれかが行います
 ※3 最終報告は、①社長・副社長、②事業所轄本部担当役員、③リスク管理委員会事務局に行われます

Voice 担当者の声



総務部
寺田 佳樹

コンプライアンス 周知徹底と仕組みの充実で意識を高める

当社は、コンプライアンスの徹底を図るため、「ニッパツ社員の行動指針」と「活用マニュアル」に従業員全員に配布し、周知徹底を図っています。また社内報などを通じて、広く情報を提供するとともに、法令の順守を積極的に呼びかけています。さらに一方では、相談窓口や通報制度を設け、従業員が困っていることなどの相談に気軽に応じられる仕組みを整えています。従業員が理解を深め、責任ある行動ができるよう努めています。